



子どもたちの未来のために～ヨソモノワカモノ、みんなで行う地域づくり～

今年の天草の冬はこのほか寒い日が続きました。北陸をはじめ、各地で記録的な豪雪に見舞われ被害も発生しています。この異常気象の中にも地域の元気づくりのために、いろいろな活動をいただいていることに敬意を表します。

「昨日と今日と変化を指摘せよ」と言われても皆さん答えに窮するでしょう。影響を感じにくいがゆえに人々を無関心にする、これこそがこの問題の真の難しさなのです。ゆっくりとではあるが真綿で首を絞められるように確実に、一人一人の暮らしが蝕まれていくのです。

出生数はこれから急坂を転げ落ちるように減ってゆく。父親と母親から子どもが一人しか生まれない(出生率1.44)というのは、折り紙を半分に折ると同じことであり、次の世代もまた子供一人しか生まなければ、さらに折り紙を半分に折ることになる。こうして次々に半分に折っていくと、大きな紙はあつという間に極小の面積になる。(河合雅司・未来の年表)

今年は、平成31年度からの第二次地域まちづくり計画策定をお願いすることになります。人口減少が進む天草、総花的な計画ではなく、5年後、10年後のまちの姿を描いていただきたいと思います。

「10年後に望み通りのふるさとになっていなかつたら、私たちは島に戻ってきません」これは、昨年研修に行った岡山県の笠岡子ども島づくり会議・子ども笠岡諸島振興計画での10年後の笠岡諸島への手紙です。私たちは、天草をふるさとを持つ子どもたちに責任があります。今回の計画策定には、ぜひ中学生や高校生にも参加してもらい、未来を担う子どもたちの意見を聞き反映させてみたいものです。

地域のことは地域でやりましょう、とよく言われます。確かに自助努力は必要です。しかし、地域の人だけでは地域の良さや課題に気づきにくい、また、地域の人だけではできない難しさがたくさんあります。行政に頼りすぎても地域はよくなりません、外からの眼で見てもらい、知恵と力を借り、地域の人々と一緒にあって地域を元気にしていくことが重要ではないでしょうか。失敗をしないという一番の失敗をしないよう、失敗を恐れず取り組んでいきたいと思っています。人口は確実に減少していくますが、「内と外をつなぐ」人材を探し、この素晴らしい天草を未来に残すために、地域づくり、仲間づくりを目指していきましょう。皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. 20

平成30(2018)年4月1日号

目次

- 会長あいさつ P1
- 平成29年度事業実績報告 P2~4
- ふるさと応援寄附金のお礼 P5
- 協議会委員の公募 P5
- 各地区の話題 P6~7
- 柏宇土地区振興会の取組など P8

共通認識を深め、地域のまちづくりのあり方を見出すこと
を目的として講演を行う事業です。

善意の寄附 ありがとうございました (敬称略)

(平成29年10月～平成30年2月 本渡まちづくり協議会受領分)

○ふるさと応援寄附金として

BATISTA DUARTE PAULO JORGE(京都府)	有田 剛(福岡県)	田中 信男(東京都)
中村 尚登(静岡県)	福田 良治(東京都)	兒島 弘明(東京都)
八木 正博(東京都)	須藤 春美(東京都)	松田 泰治(神奈川県)
中川 政和(大阪府)	武田 修寛(東京都)	池田 彩(愛知県)
田尻 圭也(熊本県)	池田 稔(熊本県)	小西 孝典(兵庫県)
井上 敬浩(愛知県)	内山 靖己(熊本県)	宇田川康博(東京都)
金子 幹司(福岡県)	箕輪 和子(神奈川県)	増田 洋子(埼玉県)
園田美帆子(神奈川県)	※その他、39名の方々にご寄附をいただきました。	渡邊 一夫(京都府)

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。

市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしくお願ひいたします。

本渡まちづくり協議会の委員を募集します

本渡まちづくり協議会は、本渡地域内の各地区振興会の代表者、公共的団体等の代表者や公募委員など20人の委員で組織されており、まちづくりに係る提案やまちづくり事業の企画・立案・実施をはじめ、住民主体のまちづくりを推進する役割を担うものです。

本年6月末の任期満了に伴いまして、以下のとおり協議会の委員を募集いたしますので、まちづくりに対する熱い思いをお持ちの方のご応募をお待ちしております。

※応募者多数の場合は、本渡まちづくり協議会で選考を行います。

募集定員 2名程度(任期2年)

応募資格 旧本渡市内に住所を有する人

応募期限 平成30年4月27日(金)必着

応募方法 住所、氏名、年齢、職業、連絡先、応募動機をご記入のうえ、
以下までご郵送またはご持参ください(応募用紙は任意)。



〒863-0023 天草市中央新町15番7号 天草宝島国際交流会館ポルト2階
天草市まちづくり支援課内 本渡まちづくり協議会事務局 TEL32-6661



▲講師 岸川政之氏

「まごの店」や「せんぱいの店」など、コミュニケーションビジネスの手法を取り入れた地域おこし取り組まれている岸川政之氏。地域の宝を探し出せ!と題し、岸川氏の実体験に基づいた、とても説得力のある話をご講演いただきました。高校生を対象とした①で



▲講演後の質疑応答

■平成29年度 事業実績一覧

実施期日・期間	「事業名」(実施場所) 事業内容	参加者
平成29年 6月 5日	「第1回 まちづくり協議会」会議(ポルト) 平成28年度 事業実績・収支決算の報告・承認 平成29年度 事業計画・収支予算の審議・決定	23人
平成29年 8月21日	「第2回 まちづくり協議会」会議(ポルト) まちづくり研修(委員研修)事業、まちづくり研修(振興会職員研修)事業、まちづくり講演会について審議・決定	24人
平成29年10月 5日 ～10月 6日	「まちづくり研修(振興会職員研修)」事業(鹿児島県薩摩川内市・熊本県水俣市) 薩摩川内市:大馬越地区コミュニティ協議会 水俣市:久木野地域振興会	10人
平成29年11月 1日	「Vol.19 まちづくり協議会だより発行」事業(本渡地域配布) 平成29年度 事業計画・収支予算、まちづくり研修事業報告、お知らせなど、各地区的話題、イルミネーション特集などを掲載	—
平成29年11月29日 ～11月30日	「まちづくり研修(委員研修)」事業(佐賀県唐津市・福岡県大牟田市) 唐津市:甘夏母ちゃん 大牟田市:はやめ南人情ネットワーク	19人
平成30年 1月19日 ～ 1月20日	「人材育成研修」事業(熊本県人吉市・あさぎり町) (一財)地域活性化センター 「地方創生実践塾 in 熊本県人吉市」	11人
平成30年 1月23日	「第3回 まちづくり協議会」会議(ポルト) まちづくり推進交付金、まちづくり講演会について審議・決定	21人
平成30年 3月13日	「まちづくり講演会」事業(天草市民センター大会議室 他) 講師:岸川政之氏 演題:地域の宝を探し出せ! ①天草拓心高校体育館 ②天草市民センター大会議室	①約250人 ②102人
平成30年 4月 1日	「Vol.20 まちづくり協議会だより発行」事業(本渡地域配布) 平成29年度 事業報告、協議会委員の公募、ふるさと応援寄附金のお礼、各地区的話題、おしらせなどを掲載	—



「宮地岳かかし村」開村しています!

宮地岳地区振興会 会長 松川 莞爾

今年もまた、春の風物詩「宮地岳かかし村」が3月18日に開村しました。今年のテーマは「土搗(どつき)き」、昔の家の基礎固めの風景を再現しています。また、昔の遊びやお祭りなど昔なつかしい情景を楽しむことができます。今や町民の人口を超す勢いの約370体の表情豊かな“かかし”たちが皆さんのお越しをお待ちしています。春の陽気に誘われて「宮地岳かかし村」で心癒せる時間を過ごしてみませんか。かかしの展示は5月6日頃までです。

まちをキレイに!佐伊津町ピカピカ大作戦!

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

12月24日「佐伊津町ピカピカ大作戦」を実施しました。今年はクリスマスイブの日に実施!ということで、全員サンタの帽子をかぶり、小学生約100人のかわいい子どももサンタがゴミを拾って回り、佐伊津町をとてもキレイにしてくれました。この活動を通じ、子どもたちの環境に対する意識の向上とともに地域に対する愛着を深めていかなければと思います。



▲あつ、ここにもゴミもあるう!

高齢化に負けない みんなでつくる『元気な本町』



くすうら眼鏡橋健康マラソン大会

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

3月4日、健康作り仲間作りを推進し、併せて楠浦のよかとこをPRするため第1回くすうら眼鏡橋健康マラソン大会を開催しました。町内外からの参加者約80人が田園風景の中を「楠浦の眼鏡橋」を眺めながらそれぞれ自分のペースで走りました。また、ゴール後にはだご汁を食べ、抽選会をして楽しみました。



⑦

本町地区振興会 会長 岡部 養一

昨年暮れから2月初旬にかけて毎年恒例の『いたてみゅう会』を開催し、6自治公民館で合計約200人の高齢者のみなさんにお集まりいただきました。食改さんの心づくしの料理、会話やカラオケ、「脳トレ」や「100歳体操」など、区長さんや老人会長さん方の協力のもと、様ざまな催しを行いました。今後さらに高齢化が進むなか「いたてみゅう会」「ふれあいサロン」「通いの場」などが地区のいこいの場、健康づくりの場、情報交換の場として重要な役割を果たすと考えられます。みんなで協力してさらに『元気な本町』にしていきたいと思います。

第4回「下浦さるく」を開催

下浦地区振興会 会長 松岡 政幸

2月18日に第4回となる「下浦さるく」を開催しました。「さるく」とは「ぶらぶら歩く」という意味であり、下浦の歴史・文化を知りながら楽しく歩くことが目的です。町民の方によるボランティアガイドもあり、普段はなかなか聞く機会が無い話もたくさん聞くことができます。終わった後は手作りの豚汁やおにぎり、漬物も振る舞われ、笑顔のあふれる屋食となりました。

▲ガイドさんの説明のようす



北地区ウォークラリー 「まちの魅力再発見」

本渡北地区振興会
会長 鶴田 克幸

2月4日、第10回北地区ウォークラリーを開催しました。当日は朝から雪が降り始め開催が心配されました。予定通りに実施することができ、7.2kmと4.1kmの2コースで154人の参加がありました。じつとしていると寒さが染み渡るほどでしたが歩き出すと体も温まり、子どもたちは雪と戯れながら、また家族連れや友達同士はおしゃべりに花を咲かせながら、普段気付くことが出来ないまちの魅力を再発見するウォーキングを楽しみました。参加者はゴール後に



▶チェックポイントでクイズに挑戦!

は食生活改善推進員さん、北地区女性部の方々から豚汁とおにぎりのおもてなしを受け、満足そうでした。その後、雪のため急きよ室内での抽選会となりましたが、大変盛り上がりいました。北地区の皆さん、毎年実施していますのでご参加をお待ちしています。



「健康づくり」 ミニバレーボール大会

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

2月18日、第31回本渡南地区「健康づくり」ミニバレーボール大会を天草市民センター体育館で開催しました。今年度はフリーの部7チーム、40歳以上の部13チーム、60歳以上の部5チームの計25チーム、182人の皆さんに参加して頂きました。それぞれの部にてリーグ戦を行い、各チーム優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。



志柿地区の二つの小学校の閉校式

志柿地区振興会 会長 福島 実

今回は振興会行事ではありませんが、志柿地区の二つの小学校の閉校式がありましたのでお知らせします。

去る2月4日に志柿小学校、2月18日に瀬戸小学校の閉校式が執り行われました。志柿小学校は143年の歴史に、瀬戸小学校は45年の歴史に幕を下ろしました。

どちらの閉校式もそれぞれの特徴を出しとても素晴らしい感動するものでした。

身近にあった小学校がなくなり、グラウンドで遊ぶ姿や笑い声が聞こえなくなると思うと、とても寂しい気持ちになりますが、平成30年度から本渡東小学校として新たな出発をする子どもたちを応援したいと思います。

また、地区振興会からは、ふるさと応援交付金の一部を両校の閉校式準備委員会に交付し、閉校記念事業の一部としてご活用いただきました。



◀開会式のようす

◀プレゼントを受け取っているよ

◀志柿小学校・瀬戸小学校記念碑

各地の話題

サンタもきたよ!

亀場地区振興会 会長 河野 昇



じょう太郎が結ぶ、 洞窟(あな)と洞穴(あな)!

栌宇土地区振興会 会長 菅原 一男

茂木根海水浴場の「じょう太郎が洞穴」とつながっているといわれがある栌宇土町大野地区の「じょう太郎が洞窟」。山の奥深く、苔に覆われた今にも崩れそうな小さな入り口から中に入ると、大人3人は十分に入れるほどの岩肌の洞窟でした。地元でも一部の者のみ知る隠れ名所で、漫画家の取材もありました。栌宇土町の宝に変貌するかはお楽しみに!! ※「じょう太郎」については、茂木根海水浴場奥に設置してある看板をご覧ください。



▲漫画家の高浜先生が、果敢にも洞窟の中へ!!

◀開会式のようす

◀プレゼントを受け取っているよ

◀志柿小学校・瀬戸小学校記念碑

⑥

ほんどのいま

平成30年3月1日現在
(H29.10.1との比較)

男	4,015人	(-38)
本	4,676人	(-40)
渡	8,691人	(-78)
南	3,878人	(-33)
】	高齢化率	31.7%
【	男	5,391人
本	女	(+30)
渡	計	5,862人
北	世帯数	(+52)
】	】	11,253人
場	高齢化率	(+82)
】	男	4,824人
志	女	(+32)
浦	計	1,811人
】	世帯数	(+4)
柿	】	高齢化率
】	男	317人
下	女	(+1)
浦	計	330人
宇	世帯数	(0)
土	】	647人
】	高齢化率	(+1)
志	男	2,044人
柿	女	(+10)
】	計	2,332人
志	世帯数	(+4)
浦	】	4,376人
】	高齢化率	(+14)
志	男	1,325人
柿	女	(-3)
】	計	1,555人
志	世帯数	(-9)
浦	】	2,880人
】	高齢化率	(-12)
志	男	820人
浦	女	(-1)
】	計	962人
志	世帯数	(-10)
浦	】	1,782人
】	高齢化率	(-11)
志	男	1,169人
浦	女	(-10)
】	計	1,301人
志	世帯数	(-2)
浦	】	2,470人
】	高齢化率	(-12)
志	男	852人
浦	女	(-14)
】	計	920人
志	世帯数	(-9)
浦	】	1,772人
】	高齢化率	(-23)
志	男	1,567人
浦	女	(-6)
】	計	1,726人
志	世帯数	(-17)
浦	】	3,293人
】	高齢化率	(-23)
志	男	1,422人
浦	女	(-13)
】	計	1,422人
志	世帯数	(-13)
浦	】	34.7%
】	高齢化率	34.7%
志	男	254人
浦	女	(-3)
】	計	267人
志	世帯数	(0)
浦	】	521人
】	高齢化率	(-3)
志	男	17,754人
浦	女	(-34)
】	計	19,931人
志	世帯数	(-31)
浦	】	37,685人
】	高齢化率	(-65)
志	男	16,320人
浦	女	(-28)
】	計	高齢化率
志	世帯数	29.9%

●編集・発行 本渡まちづくり協議会

【事務局】

天草市 地域振興部
まちづくり支援課
〒863-0023
天草市中央新町15番7号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-23-1999
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

柏宇土地区振興会の取組【櫟事業】

櫟に希望を託して!!

柏宇土町の名前の由来は“櫟”からきていると言われていることから、櫟を活かした地域おこしができないか?と考え、平成26年度から取り組みを開始。平成29年度から天草市まちづくりチャレンジ支援交付金事業を活用し、本格的に櫟事業を開始しました。



▶植樹作業のようす

休耕田や耕作放棄地に4年間で1,000本の櫟を植樹し、ロウソクや化粧品の材料となる櫟の実を出荷することによって地域の財源確保に繋げるとともに、将来的には「紅葉の町・櫟の里」と呼ばれるような“町の名所”になればと考えています。また、活動をとおし町民間の交流にも繋がると期待しているところです。



◀植樹された櫟の苗

現在まで休耕田や町共有地、約2haについて雑木の伐採や整地、防獣対策フェンスの設置を行い、また、道目木地区のうばい乳母池跡(国道から入った場所)と大地地区(国道沿いの高台)に櫟の苗340本を植樹しました。

今年の紅葉時期には、まだまだ低木ではありますが紅葉が楽しめるようになります。

今後、案内看板も設置していく予定ですので、ぜひお立ち寄り下さい。

※詳しい場所は、柏宇土地区コミュニティセンター(TEL 23-4736)にお問い合わせください。



◀櫟の紅葉